

コミュニティバスのルート再編（案）

項目	現状	コミュニティバスのルート再編案			
		A案	B案	C案	D案
方向性	●「市役所」や「総合福祉センター」を核とし、各地域に主に <u>同水準のサービス</u> を提供している。	●市役所や総合福祉センターを核とし、主に <u>現行ルートでの増便</u> 等の強化とする。	●市役所や総合福祉センターを核とし、新規停留所の設置など、主に <u>地域からの要望に応じたルートの強化</u> とする。	● <u>最寄りの鉄道駅を核</u> とし、主に地域公共交通との <u>乗り継ぎ利便性を重視</u> したルートへの変更とする。	●市役所や総合福祉センターを核とし、 <u>需要に応じた増便</u> および <u>地域からの要望による一部ルートの強化</u> とする。
運行日	●年末年始を除く毎日 (ただし、木曜日はシャトル便)	●年末年始を除く月曜日から水曜日、金曜日、土曜日 (※ 木曜日と日曜日を運行日から除外)	●A案と同じ	●A案と同じ	●A案と同じ
運行時間帯	●8:16~18:39	●8時頃~19時頃	●A案と同じ	●A案と同じ	●A案と同じ
運行ルート (別紙参照) 及び便数	●5ルート 青：田尻ルート【5便(往復)】 緑：真美ヶ丘・穴虫ルート【6便】 赤：白鳳台・旭ヶ丘ルート【5便(往復)】 紫：鎌田ルート【5便】 桃：木曜シャトル【16便】	●6ルート 黄：穴虫・祇園荘ルート【6便(往復)】 青：関屋ルート【6便(往復)】 橙：旭ヶ丘ルート【5便】 赤：白鳳台ルート【6便(往復)】 緑：真美ヶ丘ルート【6便】 紫：鎌田ルート【5便】	●7ルート 黄：穴虫・祇園荘ルート【4便(往復)】 青：関屋ルート【5便(往復)】 橙：旭ヶ丘ルート【3便】 赤：白鳳台ルート【4便半(往復)】 緑：真美ヶ丘ルート【4便】 紫：鎌田ルート【4便半(往復)】 茶：上中ルート【3便】	●5ルート 茶：循環ルート【10便】 青：関屋穴虫ルート【4便半(往復)】 赤：白鳳台ルート【5便(往復)】 緑：真美ヶ丘ルート【6便】 紫：鎌田ルート【4便半(往復)】	●6ルート 黄：穴虫・祇園荘ルート【4便(往復)】 青：関屋ルート【6便(往復)】 橙：旭ヶ丘ルート【5便】 赤：白鳳台ルート【5便(往復)】 緑：真美ヶ丘ルート【5便】 紫：鎌田ルート【5便(往復)】
	保有車両	●マイクロタイプ(29人乗り) 3台 ●マイクロタイプ(29人乗り) 1台 ●マイクロタイプ(29人乗り) 4台 計4台	●マイクロタイプ(29人乗り) 4台 ●マイクロタイプ(29人乗り) 1台 ●マイクロタイプ(29人乗り) 5台 計5台	●マイクロタイプ(29人乗り) 1台 ●ワゴンタイプ(14人乗り) 3台 ●ワゴンタイプ(14人乗り) 1台 ●マイクロタイプ(29人乗り) 1台 ●ワゴンタイプ(14人乗り) 4台 計5台	●マイクロタイプ(29人乗り) 2台 ●ワゴンタイプ(14人乗り) 2台 ●ワゴンタイプ(14人乗り) 1台 ●マイクロタイプ(29人乗り) 2台 ●ワゴンタイプ(14人乗り) 3台 計5台
車両購入費用(想定)	●—	●約600万円(耐用年数10年とした年間負担額)	●約360万円(耐用年数10年とした年間負担額)	●約420万円(耐用年数10年とした年間負担額)	●約420万円(耐用年数10年とした年間負担額)
運行費用(想定)	●約3,600万円(修繕費除く)	●約5,400万円	●約5,400万円	●約5,400万円	●約5,400万円
使用料	●1乗車100円・小学生50円・小学生未満は無料	● 1乗車150円・小学生100円 ・小学生未満は無料	● 1乗車150円・小学生100円 ・小学生未満は無料	● 1乗車150円・小学生100円 ・小学生未満は無料	● 1乗車150円・小学生100円 ・小学生未満は無料
特徴	本数	-	●便数の 増加↑	-	●一部ルートの便数の 増加↑
	ルート	-	-	●ワゴンタイプの導入による <u>細街路</u> を含む地域へのサービスの展開 ●可能な限り、 <u>地域の要望に対応</u> したルート・停留所の強化	●ワゴンタイプの導入による <u>細街路</u> を含む地域へのサービスの展開 ● <u>鉄道駅へのアクセス</u> 性強化
	運用上	-	●ルートに関わらず、1台あたりの定員に余裕(<u>乗り残しのリスク少</u>)	●ルートごとの需要に応じた車両運用	●ルートごとの需要に応じた車両運用
	その他	-	-	-	-
課題	本数	-	-	●ルートの拡充による1ルートあたりの便数の 減少↓	-
	ルート	-	●B案やD案に比べ、新規ルートや停留所の <u>要望への対応が限定的</u>	-	●「市役所」「総合福祉センター」へは <u>乗り継ぎが発生</u>
	運用上	-	-	●車種が複数存在することによる <u>運用上の制約</u> が発生 ●小型車両の導入による <u>乗り残しの可能性</u> の発生	●車種が複数存在することによる <u>運用上の制約</u> が発生 ●小型車両の導入による <u>乗り残しの可能性</u> の発生
	その他	-	-	-	-